

讀者記者

醫師 高岡專太郎
怪俄の手當

す、精神活動ならざれば事業得爲すべからずとは、千古不磨の言です、故に若し都市の生活にみ、元氣の恢復に意ある青年は舍に行きピックを握るも亦體力成の一法ならんと思ひ爰に喜ん掲載して置きます(記者)

△骨折の療法 先づ全く骨が折れて、ふら／＼動く場合、此時は一度充分に其部分を牽引して副木ホウタイする必要があるので力も要れば人手も要る。

假に腕のどこかを折つたとする。病人を仰向けに寝かして置き、一人は頭の方に据つて片方の手掌を脇窩に入れ、一方の手で肩を押さへ引張る様にしてある。他の一人は病人の足の方に綱をあて、當りを良くしたものに當がい過ぎぬ様又緩まぬ程度に全體にホウタイして置く。此場合折れない方の手を同様に引張つて見て對照して手の内外を合せる事が必要である。

脚なら腰を押さへてみて足首で引張要領は同一である。

以上は完全骨折の療法であるが不完全骨折の疑いある場合は單に副木ホウタイして一定期間要心して居ればよい。

△後療法 骨折の治る期日は小兒なら一二ヶ月、壯年の大人なら二三ヶ月老人になり次第結合悪くなつて六ヶ月位かかる。大概二ヶ月後副木ホウタイを解いて検ること筋が硬ばつて手足が容易に曲がらぬ様になつてゐるから毎日軽く全體にわたり手掌で擦摩(マッサージ)して再び副木して置く。二月後少しづづ歩る様になるか或は手を使ふ様になり次第充分熱する事があつたり、旁々面倒であるから素人療治は不可能である。

大本善三郎、日出生光太、中村辰喜、中喜、元住喜、牛田島注連喜、高田木種喜、中喜、新喜、新當大福諸限城銘垣、戸徳次、松下改太、身吉平、吉井利雄、吉井利雄、渡邊要、敷島重五郎、相田寅雄、浦本千三郎、伊藤助三郎、花井嘉吉、植田藤三郎、青松茂、永矢神、永山儀吉、佐藤嘉次郎、澤田菜松、永見藤岩、酒井藤山政次郎、森永淵喜三郎、國武伴次郎、岡崎重次郎、(岡崎重次氏取扱)サンタセシヤ耕地、(岡崎重次氏取扱)リス駢サンタエカドンシヤ耕地、バ駢メランシーヤ耕地、(岡崎重次氏取扱)サンタセシヤ耕地、(岡崎重次氏取扱)リス駢サンタカロリーナ耕地、マジミリヤノ駢、アメリア耕地

◇し出賣(唐箕)ミウト◇
 集募(驗經年多
方あるあ)工職
 したれは間に店當細委りあも便の効勞宅自
 京東ザ一力
 ○二ガニチペタイ。デ。ンロバ市聖 店本
 九二ヤニエジイフエ。タンサ。ライデラ 店支
 (タレ)三六九一 話電 (タレ)六三〇三 電話
 五〇〇一函郵
CASA TOKIO
 B. Itapetininga, 20. Tel 3036-Central 121962-Cidade

伯刺西爾拓殖會社
「イグアヘ植民地

當植民地は醫師、獸醫、農業技師、測量技手、園藝得業士等常置し植民の保護誘掖上必要なる組織を有す
當植民地は道路四通八達交通自在なり
當植民地に於ては新來植民は耕作時期まで日雇又は請負の勞働に從事すことを得
當植民地には資力乏しき者にても自作農業爲し得る方法あり

伯刺西爾拓殖會社「イグアペ」植民地

- 當植民地は醫師、獸醫、農業技師、測量技手、園藝得業士等常置し植民の保護誘掖上必要なる組織を有す
- 當植民地は道路四通八達交通自在なり
- 當植民地に於ては新來植民は耕作時期まで日雇又は請負の勞働に從事することを得
- 當植民地には資力乏しき者にても自作農業爲し得る方法あり
- 「イグアペ」植民地視察者の爲め「サントス」より植民地本部「レヂストロ」に到る道案内
- 汽車の「サントス」發は毎週月曜日水曜日（午前九時二十分）土曜日（此日だけ午前七時）にして其「ジユキア」着は午後四時
- 此間の貿等運賃は十銁百レイスなり
- 「ジユキア」には停車場近くに小旅店二軒あり。宿料參鉢内外なるが投宿の際取極め置く方宜し。
- 翌朝汽船又はガゼリンランシヤにて「ジユキア」を立てば當日「レヂストロ」に到着すべし
- 此間運賃參鉢なり

吉郎一吉 吉郎一吉
レ吉
珈琲植付受負者 募集 場所
ニヨス駆バ ルボーザ兄弟農業會社 所有の耕地に於て五年若くは六年間珈琲栽培受負を希望する家族に對し何程の樹數にても契約に應ずる
● 土地 は所謂ローチャ(紫色)にして他に比類無き生產力を有し健康に適する位置を占め飲料水又極めて良好なり。耕地は絶好なる米作地に富み且つ驛に通する自働車の通路を以てす
● 受負 仕事は一千九百十九年四月に開始するものなれども希望者は豫め當耕地を視察の上愈決定せば直ちに契約保證の爲め手附を拂込み適當の時期に森林の伐木其他の仕事を許さる可し
● 當耕地 には既に諸國人より成る百五十余家族のコローノを有し其大部分は日本人なり視察者はオリーニヨス駆より電話を以てコンゾン(馬車)の要求あらば直ちに驛まで出迎の勞を執る可し

◎日本近信

良子女王の奉仕者

女高師教授後閑女史の光榮

宮内省御用掛となり

久遠宮勤務となる

東宮妃殿下と御内定あらせられたる

久遠宮良子女王殿下の御教育につき

は宮内當局者に於ても其人選につ

き一方ならず考慮をめぐらし遂に文

部省と交渉の結果東京女子高等師範

学校教授正五位勳六等後閑菊野女史

を擇用委任待遇宮内省御用掛となり

蓮宮勤務たらしむることに決し畏々

邊へ上奏御裁可を得て四月十三日附

を以て左の如く公式任命の辭令を交

付せられたり

正五位勳六等後閑菊野

宮内省御用掛仰付但委任待遇

年俸一千三百圓下賜久遠宮勤務

を命ず

▲一度は御辭退申し

ましたか

後閑女史の談

右に就き後閑女史を神田駿河臺南甲

賀町八番地に訪へば宮家から辭令を

拜してたゞ今歸つたばかりといふ

所黒紋服をうちつくるひながら語る

「いかにも身に

餘る光榮と存じますと共に力に

餘ります重任と存じます何ういたし

てこの重任を果さうか一度は御辭

退申しあげました熟熱御詮議の末で

御引受申したからには只身心の有

限りを盡す決心を致しました

で今後の奉仕につきましては學課の

御教授よりも御養育の方を大層重く

見ていらつしやるやうであります

御人格を養ふやうに御教養申上

ますから將來妃殿下に在ります

は御役目が大層重いのでありますか

は御役目が大層重いのでありますか

後閑菊野女史は舊姫路藩士後閑彌平

治の三女にして慶應二年九月九日を

以て生れ當年五十三歲明治十七年東

正五位勳六等後閑菊野女史

は舊姫路藩士後閑彌平

治の三女にして慶應二年九月九日を

以て生れ當年五十三歲明治十七年東

正五位勳六等後閑菊野女史

は舊姫路藩士後閑彌平

治の三女にして慶應二年九月九日を

以て生れ當年五十三歲明治十七年東

京女子師範學校業を卒業し育英の業に身を委ね女流教育家として余裕あり

同二十八年女子高等師範學校教諭に

任じ正八位に叙せられ同四十四年同

校教授兼任を命ぜられ大正元年十一

月從五位陞叙現に正五位勳六等たり

▲盡す決心であるから諸君も至誠れぬ規定で其の結果は卅七名の候補を以て事に當つて貰ひたい」と簡単者中廿六名を落して僅に三分の一の身を委ね女流教育家として余裕あり

を以て事に當つて貰ひたい」と簡単者中廿六名を落して僅に三分の一の身を委ね女流教育家として余裕あり

を以て事に當つて貰ひたい」と簡単者中廿六名を落して僅に三分の一の身を委ね女流教育家として余裕あり</p

錦魚の話

一
世

七、優種の品評

錦魚の品評大會は毎年八月末或は九月初旬に開かれる勿論其の前に月並の品評會は度々開かれるが公會的のものでない又大會といふても日本並國の名品を品評するのではなく同好者が集まつた個々の會が隨所に開かれるのである、其の中最も其社會に知られてゐるのは東京淺草富士横町の錦魚商石川を中心として組織した錦魚會、同淺草北松山町谷川氏の主宰する錦冰會等で其他小さな會は幾つもある。會の當日會員は各自自慢のものを二尾三尾と携へて會場へ出席し、それを大盤に混合に放すのである。審査員は其の盤の周圍を取り巻いて仔細を點検し優物を「タマ」で掬ふて取り分け更に精鑑して大關、關脇、小結と等級の高下を附け番附にて発表するが其の撰に洩れたる錦魚の持主は澤山混合して泳ぎ廻つて見る中から自分のものを見分けて持ち歸るのに同じやうな班のもの同型のものがあるも決して見過らぬと云ふてゐる。優品の審査標準は第一に姿勢第二に背折り第三に尾筒第四に頭付第五に色澤及び模てふ順序であるけれども尾が二股に裂けた鯉が一百圓の高價を以て賣買されるのは其の子を希望する者が多いからである。一體親魚としては三歳四歳のものが好い子を産む二歳親からは彼の鮎尾或は突込と稱する「肩子」が多く出來易い。

●正誤・前號錦魚の話の順序七
あるは六の誤植

△養鶏初心者の心得

(下)多くの養鶏書には養鶏の收支計算

表を掲げて多額の利益があるやうに

書いてあるけれども皆な机上の養

鶏である、實際の養鶏は左様に容易

いものである、直接に需要者の手に

那人が大喰ふたて笑ふことは出来

れつてある、昔人殺した處を上下に

渡す事が出来なければ必ずや仲買人

故に若し飼料が少しでも高くなると

利益が見られない云ふ譯で、養鶏

者が集まつた個々の會が隨所に開か

れるのである、其の中最も其社會に

知られてゐるのは東京淺草富士横町

の錦魚商石川を中心として組織した

錦魚會、同淺草北松山町谷川氏の主

宰する錦冰會等で其他小さな會は幾

つもある。會の當日會員は各自自慢

のものを二尾三尾と携へて會場へ出

席し、それを大盤に混合に放すのであ

る。審査員は其の盤の周囲を取り巻

いて仔細を點検し優物を「タマ」で掬ふ

て取り分け更に精鑑して大關、關

脇、小結と等級の高下を附け番附にて

発表するが其の撰に洩れたる錦魚の持主は澤山混合して泳ぎ廻つて見る中から自分のものを見分けて持ち歸るのに同じやうな班のもの同型のものがあるも決して見過らぬと云ふてゐる。優品の審査標準は第一に姿勢第二に背折り第三に尾筒第四に頭付第五に色澤及び模てふ順序であるけれども尾が二股に裂けた鯉が一百圓の高價を以て賣買されるのは其の子を希望する者が多いからである。一體親魚としては三歳四歳のものが好い子を産む二歳親からは彼の鮎尾或は突込と稱する「肩子」が多く出來易い。

●正誤・前號錦魚の話の順序七
あるは六の誤植

△養鶏初心者の心得

(下)多くの養鶏書には養鶏の收支計算

表を掲げて多額の利益があるやうに

書いてあるけれども皆な机上の養

鶏である、實際の養鶏は左様に容易

いものである、直接に需要者の手に

那人が大喰ふたて笑ふことは出来

れつてある、昔人殺した處を上下に

渡す事が出来なければ必ずや仲買人

故に若し飼料が少しでも高くなると

利益が見られない云ふ譯で、養鶏

者が集まつた個々の會が隨所に開か

れるのである、其の中最も其社會に

知られてゐるのは東京淺草富士横町

の錦魚商石川を中心として組織した

錦魚會、同淺草北松山町谷川氏の主

宰する錦冰會等で其他小さな會は幾

つもある。會の當日會員は各自自慢

のものを二尾三尾と携へて會場へ出

席し、それを大盤に混合に放すのであ

る。審査員は其の盤の周囲を取り巻

いて仔細を點検し優物を「タマ」で掬ふ

て取り分け更に精鑑して大關、關

脇、小結と等級の高下を附け番附にて

発表するが其の撰に洩れたる錦魚の持主は澤山混合して泳ぎ廻つて見る中から自分のものを見分けて持ち歸るのに同じやうな班のもの同型のものがあるも決して見過らぬと云ふてゐる。優品の審査標準は第一に姿勢第二に背折り第三に尾筒第四に頭付第五に色澤及び模てふ順序であるけれども尾が二股に裂けた鯉が一百圓の高價を以て賣買されるのは其の子を希望する者が多いからである。一體親魚としては三歳四歳のものが好い子を産む二歳親からは彼の鮎尾或は突込と稱する「肩子」が多く出來易い。

●正誤・前號錦魚の話の順序七
あるは六の誤植

△養鶏初心者の心得

(下)多くの養鶏書には養鶏の收支計算

表を掲げて多額の利益があるやうに

書いてあるけれども皆な机上の養

鶏である、實際の養鶏は左様に容易

いものである、直接に需要者の手に

那人が大喰ふたて笑ふことは出来

れつてある、昔人殺した處を上下に

渡す事が出来なければ必ずや仲買人

故に若し飼料が少しでも高くなると

利益が見られない云ふ譯で、養鶏

者が集まつた個々の會が隨所に開か

れるのである、其の中最も其社會に

知られてゐるのは東京淺草富士横町

の錦魚商石川を中心として組織した

錦魚會、同淺草北松山町谷川氏の主

宰する錦冰會等で其他小さな會は幾

つもある。會の當日會員は各自自慢

のものを二尾三尾と携へて會場へ出

席し、それを大盤に混合に放すのであ

る。審査員は其の盤の周囲を取り巻

いて仔細を點検し優物を「タマ」で掬ふ

て取り分け更に精鑑して大關、關

脇、小結と等級の高下を附け番附にて

発表するが其の撰に洩れたる錦魚の持主は澤山混合して泳ぎ廻つて見る中から自分のものを見分けて持ち歸るのに同じやうな班のもの同型のものがあるも決して見過らぬと云ふてゐる。優品の審査標準は第一に姿勢第二に背折り第三に尾筒第四に頭付第五に色澤及び模てふ順序であるけれども尾が二股に裂けた鯉が一百圓の高價を以て賣買されるのは其の子を希望する者が多いからである。一體親魚としては三歳四歳のものが好い子を産む二歳親からは彼の鮎尾或は突込と稱する「肩子」が多く出來易い。

●正誤・前號錦魚の話の順序七
あるは六の誤植

△養鶏初心者の心得

(下)多くの養鶏書には養鶏の收支計算

表を掲げて多額の利益があるやうに

書いてあるけれども皆な机上の養

鶏である、實際の養鶏は左様に容易

いものである、直接に需要者の手に

那人が大喰ふたて笑ふことは出来

れつてある、昔人殺した處を上下に

渡す事が出来なければ必ずや仲買人

故に若し飼料が少しでも高くなると

利益が見られない云ふ譯で、養鶏

者が集まつた個々の會が隨所に開か

れるのである、其の中最も其社會に

知られてゐるのは東京淺草富士横町

の錦魚商石川を中心として組織した

錦魚會、同淺草北松山町谷川氏の主

宰する錦冰會等で其他小さな會は幾

つもある。會の當日會員は各自自慢

のものを二尾三尾と携へて會場へ出

席し、それを大盤に混合に放すのであ

る。審査員は其の盤の周囲を取り巻

いて仔細を點検し優物を「タマ」で掬ふ

て取り分け更に精鑑して大關、關

脇、小結と等級の高下を附け番附にて

発表するが其の撰に洩れたる錦魚の持主は澤山混合して泳ぎ廻つて見る中から自分のものを見分けて持ち歸るのに同じやうな班のもの同型のものがあるも決して見過らぬと云ふてゐる。優品の審査標準は第一に姿勢第二に背折り第三に尾筒第四に頭付第五に色澤及び模てふ順序であるけれども尾が二股に裂けた鯉が一百圓の高價を以て賣買されるのは其の子を希望する者が多いからである。一體親魚としては三歳四歳のものが好い子を産む二歳親からは彼の鮎尾或は突込と稱する「肩子」が多く出來易い。

●正誤・前號錦魚の話の順序七
あるは六の誤植

△養鶏初心者の心得

(下)多くの養鶏書には養鶏の收支計算

表を掲げて多額の利益があるやうに

書いてあるけれども皆な机上の養

鶏である、實際の養鶏は左様に容易

いものである、直接に需要者の手に

那人が大喰ふたて笑ふことは出来

れつてある、昔人殺した處を上下に

渡す事が出来なければ必ずや仲買人

故に若し飼料が少しでも高くなると

利益が見られない云ふ譯で、養鶏

者が集まつた個々の會が隨所に開か

れるのである、其の中最も其社會に

知られてゐるのは東京淺草富士横町

の錦魚商石川を中心として組織した

錦魚會、同淺草北松山町谷川氏の主

宰する錦冰會等で其他小さな會は幾

つもある。會の當日會員は各自自慢

のものを二尾三尾と携へて會場へ出

席し、それを大盤に混合に放すのであ

る。審査員は其の盤の周囲を取り巻

いて仔細を點検し優物を「タマ」で掬ふ

て取り分け更に精鑑して大關、關

脇、小結と等級の高下を附け番附にて

